

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2007/1/22 駐在員：山川 祐司

子ども達のもう一つの教師区～ミシガン歴史博物館～

ランシング市内にあるミシガン歴史博物館は、昨年9月11日付当欄でご紹介した州議事堂と共に、子ども達が学習の一環として訪れるのをよく見かける施設です。

受付の方によると、平日一日の平均来館者数は300～500人とのことですが、週末は100人未満にまで落ち込むそうです。この差は、博物館訪問が教育プログラムの中に組み込まれており、一日に十数組の校外学習のグループを受け入れていることに起因するようです。

展示フロアは、19世紀以前と20世紀（1975年まで）の二つに大別されており、自動車産業発展の歴史から、庶民の生活、南北戦争や大恐慌時などの各時代の世相までを、豊富な資料と趣向を凝らした展示スペースによって体感出来ます。じっくり見て回ると優に一時間はかかりますが、大人でも十分楽しめる内容で、入館は無料となっています。（2007年1月現在）



50年前のデトロイトモーターショーを再現したコーナー。当時の雰囲気が伝わってきます。